

4つの事例にみる「地域未来塾」 ～地域・学校の実態に応じた多様な学習支援～

この事業の特徴の一つは、実施場所(学校または学校外)、開催時間(放課後、土曜日、長期休業日等)、対象(小・中・高校生、学年)、教材・学習方法、学習支援員(教員OB、大学生、地域住民、NPO・民間教育事業者等)、コーディネーター設置など、地域や学校の実態に合わせて多様な実施形態が選択可能な点です。

小学校、中学校、学校外施設、計4つのケースを御紹介します。

事例① 北区

小学校3、4年生を対象とした放課後週一回の補習教室 ～学力フォローアップ教室～

北区教育委員会では、学力パワーアップ事業として中学生向けの学習教室、小学生向けの補習教室を開催しています。

小学生向けには、3、4年生を対象として週1回放課後などに外部指導員による補習教室「学力フォローアップ教室」を全小学校で実施しています。北区立赤羽台西小学校 野間俊彦校長にお話を聞きました。

北区立赤羽台西小学校
学力フォローアップ教室
毎週水曜日 放課後 1時間
算数・国語

▶始める際に期待していたことは

野間校長 習熟度に応じた様々な指導は行っていますが、学習のつまづきは一人一人異なることから、学力の底上げを図るために、何かできることはないかと従来から思っていました。そこに教員の負担を増やさずに、外部指導員により基礎的な学力向上を図ることができる「学力フォローアップ教室」がアナウンスされたので、すぐにモデル校に手を挙げました。目的は算数・国語の基礎的な学力の定着です。

▶参加者の募集方法は？

野間校長 保護者にお知らせを配布して参加希望を取り、3年生、4年生とも約10名の児童が参加しています。

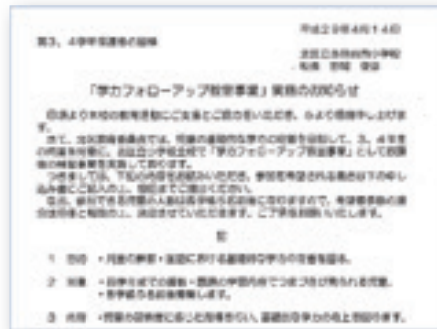
▶学習支援員は誰が担っていますか？

野間校長 本校で非常勤講師をお願いしている方を中心に、3名の外部講師です。普段の一人一人のつまづきを踏まえたフォローになっています。

▶実施しての成果は

野間校長 保護者から「うちの子が家で勉強しています！」といった、驚きと喜びの声が聞かれました。学習習慣の定着、意欲の高ま

り、そして効果測定(4月、9月、年度末 計3回)結果から、基礎学力の定着がみられます。子供自身が「できるようになった」と実感し、担任もそのことを共有しています。



野間校長「みんなが喜んでいる取組です」

事例② 文京区

学校支援地域本部としての取組「放課後学習教室」 ～放課後チャレンジ教室～

文京区教育委員会では小学校4校・中学校4校で、放課後学習支援ボランティア事業を実施しています。

駒本小学校は、平成20年度に学校支援地域本部(以下「本部」という。)の活動を始め、平成25年から本部の取組として放課後学習教室「放課後チャレンジ教室」を開始しています。田中克昌校長、水木優香コーディネーター(以下「コ」という。)、茜順子指導員にお話を伺いました。

文京区立駒本小学校 家庭科室
毎週水曜日とPTA総会等開催日
放課後1時間程度
全教科対象(主に国語・算数)
全学年(平成28年度は年間43回実施。
延べ700名)



水木コ
田中校長
茜指導員

▶始める際に期待していたことは

水木コ 当初、算数の学習が遅れがちな児童のフォローと、学習の習慣づけを目的に、本部が取り組み始めました。

▶参加者の募集方法は？

水木コ 毎月1回「放課後チャレンジ教室通信」を全児童に配布し、参加を呼び掛けている。

▶学習支援員は誰が担っていますか？

水木コ 卒業生や在校生の保護者等13名が登録、毎回2～3名が担い、皆さんほめ上手で、児童のペースに合わせてゆったりと対応していて、居心地の良い場となっています。

茜指導員 私は元保護者で、自治会でも知り合いの水木さんに誘われ、退職したのを契機にコーディネーターとなり、今年で3年目です。

▶学習方法の特徴など

水木コ 学校や塾の宿題、教職員が作成した算数の「振り返り教材」など、何を学習するかは児童に任せています。また、目標を持って学べるように、本部として漢字検定や算数検定を実施し、試験の合格証は全校朝会で校長先生に授与してもらっています。日々の学習支援や試験の結果で気になったことは学級担任と共有しています。

▶実施しての成果は

茜指導員 友達と誘い合って参加したり、学年を超えて和気あいあいと教え合う、又は競って学んでいる教室が楽しいようです。宿題を終わらせてから校庭開放に行くといったこともあります。試験受験者も年々増えて今では親子や兄弟でも受験しています。

田中校長 安心できる居場所で解放感、又は宿題を終わらせたり、検定を目指す達成感、という二つの目的を満たしています。日頃から高校生や大学生の卒業生が気軽に立ち寄ってボランティアとして活躍できる場を本部は提供していて、そうした活動の上に、この教室は学習の機会の選択肢を増やしていると思います。



思い思いに学ぶ
チャレンジ教室の様子